

夢の架け橋 (弥生)

第12号

『歩』

あちこちで梅の花が咲き始め、少しずつ春を感じますね。三月は、桃の節句に卒業式にと華やかな季節です。花粉症の人には、少々辛い時期でもありますが：

さて、今月のテーマは「歩」：少し止まると書いて歩。飛行機、新幹線、高速道路、エレベーターにエスカレーター：めまぐるしく進化する一方で、人間の足はどんどん衰えていく。生活が豊かになり、便利になればなるほど、人間の心と身体が退化していくように思うのは私だけでしょうか？

ジムやスイミングに通い身体を鍛え、ジョギング、マラソンなどのスポーツに汗を流すのももちろん良いけれど、少し自宅周りを歩いてみるとまた新たな発見があるかも。

春の花が少しずつ芽を出し、桜の樹にも変化が見られ、川の様子も変わっていると思います。

今まで気づかなかった発見や出会いがきっとあるはず。さあ、キョロキョロしながらのんびり歩いてみましょう。(くれぐれも不審者に間違われぬように)

今回、会員の1さんから本の抜粋を紹介していただきました。ありがとうございます。裏面に記載しましたので是非目を通してください。

3月のギャラリー



3/14(月)
～ 4/9(土)

骨董品
コレクション展

奥田 保嘉雄所蔵

展示期間中、展示内容を入替えながら
総数100点以上を展示。

ひとり言

今年によく雪が降りました！
なぜか雪を見るとワクワクするのですが…
特に、降積もったばかりの雪を踏みしめた時のあのグューツという感覚がなぜか大好きなのです。人によっては、片栗粉を踏んでみたいでいやだとおっしゃる人もいらっしゃるのですが…

さて、この「夢の架け橋」もまもなく1年を迎えようとしています。当初は思いつきで始め、いつまで続くかと思っておりましたが、みなさまからの暖かい声を頂きここまで続けてまいりました。今後もいろんな情報をお届けしながら楽しんでいただける様な内容の紙面を創って行こうと思います。どうぞ、温かい目で見守って下さい。

4月から2年目を迎えるにあたり、紙面上で新たな企画をしようと思ひ、無い知恵絞ってますので是非お楽しみを！

(榎なし草)

『チケット取扱中』

●落楽会主催 落語会

4月23日(土) すいとびあ江南

開場 PM5:00 開演 PM5:30

参加費 3,000円 お弁当付

詳細はお問い合わせ下さい。

問合せ先

予約席 (0587) 53-4218

杉原 (0587) 54-0546

『お知らせ』

4月10日から端午の節句展を開催
ご自宅にある五月人形等、展示できる
ものがありましたらお知らせ下さい。

予約席 calendar 3月

日	月	火	水	木	金	土
27	28	1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31	1	2

赤字の日がお休みになります

夢を見た、クリスマスの夜。

浜辺をあるいていた、主と並んで。

砂の上に二人の足が、二人の足跡を残していった。

私のそれと、主のそれと。

ふと思った。夢の中のことだ。

この一足一足は、私の生涯の一日一日を示している。

立ち止まって後ろを振り返った。

足跡はずっと遠く見えなくなるところまで続いている。

ところが、一つのこと気づいた。

ところどころ、二人の足跡ではなく、

一人の足跡しかないのに。

私の生涯が走馬灯のように思い出された。

なんとという驚き、一人の足跡しかないところは、

生涯でいちばん暗かった日とびつたり合う。

苦悶の日、

悪を望んだ日、

利己主義の日、

試練の日、

やりきれない日、

自分にやりきれなくなった日。

そこで、主のほうに向き直って、

あえて文句を言った。

「あなたは、日々私たちと共にいると約束されたではありませんか。

なぜ約束を守ってくださらなかったのか。

どうして、人生の危機にあった私を一人で放っておかれたのか、

まさにあなたの存在が必要だった時に」

ところが、主は私に答えて言われた。

「友よ 砂の上に一人の足跡しか見えない日、

それは私がきみをおぶって歩いた日なのだよ」

『老いの才覚』 曾野綾子著より